

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価

所属 0001351010 維持管理課道水路管理係

事務事業 02762 道水路管理事務 電話番号 0566-71-2237

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	002	1 3 住環境			
施策の取組	006	安全な住環境対策			
事務事業	001	道水路管理事務			
事業期間	平成元年度 ～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	道路法、安城市法定外公共物の管理に関する条例				
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を統合しています。 ・ 道路管理事務 ・ 不法占用処理事務 ・ 水路管理事務 ・ 道路台帳管理事務				

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	道水路、橋りょう等の占用及び承認工事の許認可に関すること、道水路の用地に関すること、屋外広告物に関すること、狭あい道路拡幅事業に関すること、道路台帳管理等の事務処理を行います。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	110, 137	109, 633	121, 246
事業費	57, 337	56, 033	65, 246
国庫支出金	4, 700	4, 658	4, 500
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	56	58	24
一般財源	52, 581	51, 317	60, 722
人件費計	52, 800	53, 600	56, 000
正規（人）	8. 00	8. 00	8. 00
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	道水路の占用、承認工事の許認可事務 道水路境界立会い、市有地払い下げ、占用料徴収、狭あい道路拡幅、道路台帳の整備等の事務 屋外広告物に関する事務	道水路の占用、承認工事の許認可事務 道水路境界立会い、道水路の用途廃止、占用料徴収、狭あい道路拡幅、道路台帳の整備等の事務 屋外広告物に関する事務	道水路の占用、承認工事の許認可事務 道水路境界立会い、道水路の用途廃止、占用料徴収、狭あい道路拡幅、道路台帳の整備等の事務 屋外広告物に関する事務

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

2 頁

令和 7年12月26日
11時45分43秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001351010 維持管理課道水路管理係
事務事業 02762 道水路管理事務

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度

【 定性評価 】

カテゴリ		評価の観点		基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない		1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
	理由		道水路の管理者として必要な事務です。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある		1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
			3	市民ニーズはない又は不明である		
	理由		道水路の管理者として必要な事務で多くのニーズがあります。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		
			2	目標を下回る進捗状況である		
			3	進捗はかなり遅れている		
	理由					
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		1
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
	理由		道路占用等の電子申請を行い効率化を図っています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
	理由		道水路の管理者として適正な事務です。			

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	本事業は、道路管理者として行うべき必要な事業です。今後も適正な事務処理を行っていく必要があります。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

1 頁

令和 7年11月 9日
15時08分00秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001351020 維持管理課予防保全係
事務事業 02763 放置自転車対策事業

電話番号 0566-71-2278

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	002	1 3 住環境			
施策の取組	006	安全な住環境対策			
事務事業	002	放置自転車対策事業			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	安城市自転車等の放置防止に関する条例				
備考					

【事業分析】

対象	駅前広場、道路等を通行する人が
目的	安全で良好な通行機能を確保できるようになります。
手段	自転車等の放置禁止区域において、公共の場所における自転車等の放置を防止することにより、通行機能を確保し、市民生活の安全を図るとともに良好な都市環境を保持します。
事務内容	放置自転車撤去・告示・処分、放置自転車台帳作成、放置自転車防犯登録照会、引取通知書発送、リサイクル自転車業務、放置自転車実態調査、放置自転車クリーンキャンペーン、施設修繕

【コスト】

（単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	27,065	24,186	28,019
事業費	18,485	15,476	18,919
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	28	17	40
一般財源	18,457	15,459	18,879
人件費計	8,580	8,710	9,100
正規（人）	1.30	1.30	1.30
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	放置自転車指導員の配置（4人） 無料自転車駐輪場の管理（9箇所）	放置自転車指導員の配置（4人） 無料自転車駐輪場の管理（10箇所）	放置自転車指導員の配置（4人） 無料自転車駐輪場の管理（10箇所）

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

2 頁

令和 7年11月 9日
15時08分00秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001351020 維持管理課予防保全係
事務事業 02763 放置自転車対策事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
通行機能阻害による苦情件数	件	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00
放置自転車移動台数	台	200.00	0.00	150.00
		102.00	79.00	0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	市が条例に基づき実施しています。	
2	必要性	市民ニーズは充分にある	1
		社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		市民ニーズはない又は不明である	
	理由	放置自転車の移動台数は継続してあります。	
3	有効性	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		目標を下回る進捗状況である	
		進捗はかなり遅れている	
	理由	目標どおりの進捗でした。	
4	効率性	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	移動台数が一定量あるため、業務の効率化に努めます。	
5	公平性	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	他市も放置禁止区域を条例で定めています。	

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	自転車等放置禁止区域内の公共の場所における自転車等の放置を防止することにより、通行機能を確保し、もって市民生活の安全を図るとともに良好な都市環境を保持することができました。放置自転車は継続して一定量あることから、少数の放置自転車が多数の放置自転車を誘発するため、引き続き事業を継続する必要があります。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

3 頁

令和 7年11月 9日
15時08分00秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001351020 維持管理課予防保全係
事務事業 02764 駅施設管理事業

電話番号 0566-71-2278

【基本情報】

計画回数	03	第9次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	004	生活や産業を支える道路ネットワーク及び快適で利便性の高い公共			
事務事業	006	駅施設管理事業			
事業期間	平成元年度 ～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	駅施設及び駅前広場の利用者が
目的	安心・快適に利用できるようになります。
手段	鉄道利用する通勤者等を始め、駅施設及び駅前広場の通行者が、安心・快適に利用できるよう施設設備等を維持管理します。
事務内容	安城駅前デッキ等の駅関連施設の保守管理清掃、タクシープールの水道料金の請求、安城駅前デッキ・三河安城駅連絡通路・新安城駅自由通路の使用許可、施設修繕

【コスト】

（単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	87,136	84,830	128,802
事業費	79,216	76,790	120,402
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	126	9	20
一般財源	79,090	76,781	120,382
人件費計	7,920	8,040	8,400
正規（人）	1.20	1.20	1.20
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	安城駅前デッキ、三河安城駅連絡通路、新安城駅自由通路の管理清掃 駅前トイレの清掃 駅前広場樹木草花の管理	安城駅前デッキ、三河安城駅連絡通路、新安城駅自由通路の管理清掃 駅前トイレの清掃 駅前広場樹木草花の管理	安城駅前デッキ、三河安城駅連絡通路、新安城駅自由通路の管理清掃 駅前トイレの清掃 駅前広場樹木草花の管理 三河安城駅前広場等設計業務委託

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

4 頁

令和 7年11月 9日
15時08分00秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001351020 維持管理課予防保全係
事務事業 02764 駅施設管理事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
駅関連施設の管理瑕疵による事故件数	件	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00
駅関連施設での事故、負傷件数	件	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1
		1 国・県・民間等がサービスを行っていない	
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	市が所有する施設のため維持管理を行います。	
2	必要性	市民ニーズの有無	1
		1 市民ニーズは充分にある	
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
	理由	多くの駅利用者や駅前広場の通行者が利用する施設です。	
3	有効性	目標に対する進捗状況	1
		1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
	理由	目標どおりの進捗でした。	
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	2
		1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	施設の修繕にあたり費用削減に努めます。	
5	公平性	事業規模・サービス水準	1
		1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	駅施設を保全するため適正です。	

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	J R、名鉄の駅前広場や通路の清掃並びに植栽、昇降施設、公衆トイレ等の維持管理を行い、鉄道を利用する通勤者等を始め、駅施設や駅前広場の利用者が安心して快適に通行・利用できるよう、引き続き施設等の維持管理を継続する必要があります。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

5 頁
令和 7年11月 9日
15時08分00秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001351020 維持管理課予防保全係
事務事業 02765 自動車・自転車有料駐車場事業 電話番号 0566-71-2278

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	004	生活や産業を支える道路ネットワーク及び快適で利便性の高い公共			
事務事業	007	自動車・自転車有料駐車場事業			
事業期間	昭和48年度 ~				
実施方法	全部委託				
会計区分	有料駐車場特会	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	安城市有料駐車場の設置及び管理に関する条例				
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を統合しています。 ・ 自動車駐車場運営事業 ・ 自転車駐車場運営事業				

【事業分析】

対象	鉄道利用の通勤通学等の駐車場利用者が
目的	便利で安心して自動車・自転車駐車場を利用できるようになります。
手段	環境にやさしいパークアンドライド、サイクルアンドライドとして、通勤者等の駅周辺を中心とした市営駐車場・駐輪場の利用を推進するため、自動車・自転車駐車場の管理運営を行います。
事務内容	月報報告、収入管理、指定管理者連絡調整会議、年度協定締結、事業計画書作成、決算事務、公営企業決算状況調査、施設修繕

【コスト】

（単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	146,956	194,733	196,853
事業費	138,376	186,023	187,753
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	138,376	186,023	187,753
人件費計	8,580	8,710	9,100
正規（人）	1.30	1.30	1.30
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	収容台数 1,231台 指定管理委託 安城駅西駐車場西棟保 全改修工事	収容台数 1,231台 指定管理委託 キャッシュレス決済・ 新紙幣対応修繕 精算機等更新	収容台数 1,231台 指定管理委託 キャッシュレス決済対 応修繕

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

6 頁

令和 7年11月 9日
15時08分00秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001351020 維持管理課予防保全係
事務事業 02765 自動車・自転車有料駐車場事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
有料駐車場の管理瑕疵による事故件数	件	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00
有料駐車場利用率	%	90.00	0.00	90.00
		92.98	97.70	0.00

【 定性評価 】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	駅周辺の駐車場需要を満たすため、市で補完する必要があります。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	利用台数は前年度と比べ増加しており、ニーズは充分にあります。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標どおりの進捗でした。			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	指定管理者制度を導入しています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市と比較して料金設定は適正です。			

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	鉄道利用の通勤者等が、便利で安心して自動車・自転車駐車場を利用できるよう、駅周辺を中心とした駐車場の管理運営を行う必要があります。また、市民ニーズは充分にあるため、今後とも利用者が便利で安心して駐車場を利用できるよう、適切な駐車場の管理運営を行う必要があります。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001351020 維持管理課予防保全係
事務事業 02766 有料駐車場事業消費税事務

電話番号 0566-71-2278

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	004	生活や産業を支える道路ネットワーク及び快適で利便性の高い公共			
事務事業	008	有料駐車場事業消費税事務			
事業期間	平成12年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	有料駐車場特会	事業区分	義務的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	消費税法				
備考					

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	有料駐車場の使用料収入に関して、消費税法に基づき申告・納付を行います。 ・課税売上と課税支出の見込みの検討 ・消費税及び地方消費税の確定申告、中間申告

【コスト】

（単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	660	14,203	9,400
事業費	0	13,533	8,700
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	13,533	8,700
人件費計	660	670	700
正規（人）	0.10	0.10	0.10
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	確定申告 中間申告	確定申告 中間申告	確定申告 中間申告
【事務事業活動実績】			

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

8 頁
令和 7年11月 9日
15時08分00秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001351020 維持管理課予防保全係
事務事業 02766 有料駐車場事業消費税事務

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度

【 定性評価 】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク	
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	消費税法に基づき申告・納付を行います。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
	理由	駐車場財政の健全性を保持するために必要です。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
	理由				
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	消費税法に基づき適切に申告・納付を行います。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	消費税法に基づき適切に申告・納付を行います。			

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	有料駐車場事業の消費税及び地方消費税の確定申告、中間申告に関する事務であり、適切に事務を行う必要があります。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価

所属 0001351020 維持管理課予防保全係

事務事業 02767 有料駐車場事業償還事務（元金・利子）

電話番号 0566-71-2278

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	004	生活や産業を支える道路ネットワーク及び快適で利便性の高い公共			
事務事業	009	有料駐車場事業償還事務（元金・利子）			
事業期間	昭和48年度 ~ 令和 6年度	52 年間			
実施方法	直営				
会計区分	有料駐車場特会	事業区分	義務的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	有料駐車場事業債の元金・利子償還事務

【コスト】

（単位：千円）

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		5,161	5,172	0
事業費	事業費	4,501	4,502	0
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	4,501	4,502	0
	人件費計	660	670	0
	正規（人）	0.10	0.10	0.00
その他経費		0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	有料駐車場事業債の元金・利子償還事務	有料駐車場事業債の元金・利子償還事務	
【事務事業活動実績】			

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001351020 維持管理課予防保全係
事務事業 02767 有料駐車場事業償還事務（元金・利子）

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1
2	理由	有料駐車場で財源確保が必要です。	1
3	必要性	市民ニーズの有無	1
4	理由	施設の利便性と安全性を確保するために必要です。	1
5	有効性	目標に対する進捗状況	1
6	理由	事業の効率化・事業費の削減	1
7	理由	適切に事務を行います。	1
8	公平性	事業規模・サービス水準	1
9	理由	適切に事務を行います。	1

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	休止・廃止・終了
1 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	過年度に実施した駐車場改修工事に伴う事業債の償還金及び利子を償還するため適切に事務を行い、令和 6 年度に終了しました。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001351020 維持管理課予防保全係
事務事業 02770 橋りょう維持管理事業

電話番号 0566-71-2278

【基本情報】

計画回数	03	第9次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	004	生活や産業を支える道路ネットワーク及び快適で利便性の高い公共			
事務事業	010	橋りょう維持管理事業			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	道路法施行規則				
備考					

【事業分析】

対象	道路施設の橋りょうが
目的	道路橋の老朽化への予防的な修繕及び計画的な架け替えにより、係る費用の縮減と道路橋利用者への安全性と信頼性を確保します。
手段	道路橋の定期的な点検と予防的な補修を実施します。
事務内容	点検業務、補修設計・工事

【コスト】

（単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	42,542	38,304	81,250
事業費	39,044	35,825	76,840
国庫支出金	6,985	6,215	31,625
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	32,059	29,610	45,215
人件費計	3,498	2,479	4,410
正規（人）	0.53	0.37	0.63
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	橋りょう修繕 N=3橋 橋りょう点検 N=99橋 橋りょう設計 N=3橋 橋りょう工事 N=1橋	橋りょう修繕 N=2橋 橋りょう点検 N=96橋 橋りょう工事 N=1橋	橋りょう修繕 N=3橋 橋りょう点検 N=97橋 橋りょう設計 N=3橋 橋りょう工事 N=3橋

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001351020 維持管理課予防保全係
事務事業 02770 橋りょう維持管理事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
橋の不良により通れなくなった橋数	橋	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00
点検する橋数	橋	99.00	0.00	97.00
		99.00	96.00	0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1
2	理由	市が管理する橋梁です。	1
3	必要性	市民ニーズの有無	1
4	理由	道路橋としての安全性、信頼性の確保が求められています。	1
5	有効性	目標に対する進捗状況	1
6	理由	目標どおりの進捗でした。	1
7	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1
8	理由	予防保全を行うことで事業費の削減になります。	1
9	公平性	事業規模・サービス水準	1
10	理由	事業規模は適正です。	1

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	老朽化する橋梁の増加に対応するため、予防保全による計画的な修繕を行うことで、橋梁の長寿命化や事業費の削減を図りつつ、引き続き地域の道路網の安全性・信頼性を確保する必要があります。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

1 頁

令和 7年11月 4日
13時45分50秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001351030 維持管理課地域整備係
事務事業 02768 道路施設管理事業

電話番号 0566-71-2274

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	004	生活や産業を支える道路ネットワーク及び快適で利便性の高い公共			
事務事業	011	道路施設管理事業			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等					
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を統合しています。 ・道路施設維持管理事業 ・交通安全施設整備事業 ・道路維持修繕直接施工事業 令和 3 年度の組織改正により、土木課道路安全係から以下の事業を統合しています。 ・生活道路新設改良事業のうち道路側溝等の新設改良 ・通学路整備事業				

【事業分析】

対象	道路施設を通行及び使用する市民が
目的	道路施設の修繕等の維持管理を行うことにより安全で安心して通行できるようになります。
手段	道路施設の維持改良を工事発注及び現業職員による直接作業にて修繕を行います。
事務内容	町内会土木事業要望をもとに道路施設の維持改良工事の設計及び施工管理を行い、かつ現業職員による定期的な道路パトロール及び直接作業により適切な道路管理と街路樹の管理を行います。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	1,167,649	1,277,663	888,395
事業費	1,167,649	1,277,663	888,395
国庫支出金	51,283	39,995	40,000
県支出金	0	3,945	2,400
地方債	36,000	35,000	36,000
その他	873	1,097	1,225
一般財源	1,079,493	1,197,626	808,770
人件費計	0	0	0
正規（人）	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	(側溝工) L=2,698m (舗装工) A=25,881㎡ (防護柵) L=228m (道路反射鏡) N=40基 (区画線) L=11,342m	(側溝工) L=2,617m (舗装工) A=42,805㎡ (防護柵) L=345m (道路反射鏡) N=27基 (区画線) L=5,771m	(側溝工) L=4,000m (舗装工) A=22,000㎡ (防護柵) L=200m (道路反射鏡) N=40基 (区画線) L=30,000m

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

2 頁

令和 7年11月 4日
13時45分50秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001351030 維持管理課地域整備係
事務事業 02768 道路施設管理事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
道路瑕疵事故の件数	件	0.00 5.00	0.00 3.00	0.00 0.00
道路施設に対する苦情・情報提供・要望に対する達成割合	%	100.00 97.00	0.00 97.00	100.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	道路施設は道路管理区分があり市道部施設の維持管理をしています		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	本事業は市民生活に直結しておりニーズは充分にあります。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	2
理由	道路施設管理費は限りがあり全ての要望に対応できていません。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
理由	複数箇所の工事発注をまとめることにより経費を抑えています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	限られた事業費の中で計画を立て効率的に整備を進めています。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	町内会土木事業要望を基に、良好な道路環境の創出と通行者の安全を図るため、市内の道路施設の整備及び補修、街路樹の管理を進めております。限られた事業費を効率的に活用し、緊急性が高く簡易なものについては現業職員で施工し、大規模なものについては工事発注にて対応します。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。